

ほけんだより

金沢北陵高校保健室

7月

数字で見る熱中症対策！



97,578人

2024年5月～9月の全国における、熱中症で救急搬送された人の数（累計）
その前の年と比べると、なんと6,000人以上増えました。うち軽症が65.3%、入院が必要な中等症が32.0%、長期入院が必要な重症が2.2%、死亡が0.1%でした。3～4人に1人は入院が必要な状態で搬送されていることがわかります。

35度以上

猛暑日の基準となる最高気温
テレビから「猛暑日」と聞こえたらその日の最高気温は35度以上の厳しい暑さになるということ。対策は万全に。

～2%

「のどが渴いた」と感じたときに体内から失われている水分量

軽い脱水では自覚症状がなく、のどが渴いたときには既に予想以上に水分が失われています。のどが渴く前にこまめに水分補給をしましょう。

1.2 L

1日に飲料で摂取すべき水分（食事等に含まれる水分を除く）
ただし、たくさん汗をかいたときにはそれに見合った水分と塩分をとる必要があります。水分・塩分は食事でもとる必要があるので、できるだけ食事を抜いたりしないようにしましょう。



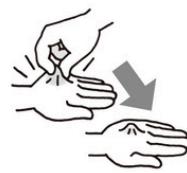
5時・17時

熱中症警戒アラートの発表タイミング

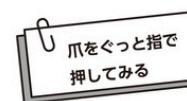
熱中症警戒アラートは熱中症の危険が極めて高い場合、環境省から地域ごとに発表されます。アラートが出たら外での運動は原則、中止・延期が推奨されます。外出もできるだけ控えましょう。

覚えておこう 脱水症

チェック



手の甲の皮膚をつまんでみる



爪をぐっと指で押してみる

どちらもすぐに元に戻らないときは脱水症の可能性あり！

脱水症の症状

軽度
重度

のどの渇き
強い渴き ぼんやりする
食欲がない
皮膚が赤くなる イライラする
体温が上がる
強い疲れ 尿が少なく・濃くなる
頭痛 ぐったりする
ふらふらする けいれん
尿が出ない 最悪の場合死の危険も

脱水症も熱中症も水分不足から起ります。
軽度の脱水症が熱中症のはじまりになる場合も。
「なんだかおかしいな」と感じたら経口補水液などで早めに対処を。

熱中症予防にプラス 手のひらの冷却



夏にスポーツをする人は熱中症予防がとても大切ですね。こまめな水分補給・休憩など予防方法はたくさんありますが、プラスで覚えておいてほしい方法があります。それが手のひらを冷やすこと。手のひらにはAVC血管という体温を調節する働きがある血管が通っています。熱中症は体温が上昇することで起こるため、手のひらを冷やすことで体温の上昇を抑えられるのです。



手のひらを冷やす時のポイント

✿ 氷水を入れたバケツなどに手のひらを浸すのが最も効果的。難しい場合は、効果は少し落ちますが保冷剤でもOK

✿ 運動前と休憩中に3分間ずつなど、こまめに冷やすとより予防効果が高まります

気温だけでなく「暑さ指数（WBGT）」もチェックを！